

令和3年 9月定例会

令和3年9月市議会定例会は9月28日から10月22日まで(会期25日間)開かれました。今回は4名の議員が議案質疑を行い、6名の議員が市政一般に対する質問を行いました。

9月定例会では、市長から提出されました議案26件(条例5件、予算7件、決算9件、その他5件)、議員・議会提出の議案2件(修正案1件、意見書1件)について審議し、修正案1件、修正部分を除く原案1件を含む26件、意見書1件が可決されました。

委員会 審査報告

予算特別委員会 審査報告

審査の過程で、次のような意見がありました。

総務費

○不動産鑑定評価委託料

対象不動産の売却可能性を十分に検討すること。

また市の将来のまちづくりを考えて市有地売却をしていただきたい。

商工費

○地方創生テレワーク交付金事業の企業誘致の関連

企業誘致だけではなく市全体のプロモーションも含めた事業と考へ、進めていただきたい。



土木費

○宝満山の整備

頂上に設置している転落防止柵改修工事のみが予算計上されているが改修が必要箇所については対応していただきたい。



宝満山

教育費

○スクールバスタイヤ交換委託料

本来はスクールバス運行委託の中で行うべきと考えます。来年度で契約期間満了となるため、次期委託に当たっては、仕様及び契約内容を細部にわたり研究すること。また、義務教育学校修学旅行取消料について、基本的には



スクールバス

保護者の積立金で対応するべきとの意見や、訪問先の新型コロナウイルス感染症状況の拡大によるやむを得ない状況での取り消しであるとの意見、一般財源で計上されているが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用も検討することとの意見もありました。

本議案については、慎重に審査した結果、全会一致で本案を原案どおり可決すべきものと決定しました。
特別会計・企画会計3議案についても、慎重に審査した結果、全会一致で本案を原案どおり可決すべきものと決定しました。

総務文教委員会 閉会中審査報告

閉会中継続審査事件について次のとおり報告します。

○空家対策について

7月28日の委員会で、特定空家と管理不全な空き家、空き家の利活用、空き家になる前の予防対策について今後審査を進めていくこととしました。

○公共施設の維持管理対策について

長期的な計画が必要であり、委員会からも計画に対し提案をしていく事になりました。



東庁舎周辺

産業厚生委員会 閉会中審査報告

閉会中継続審査事件について次のとおり報告します。

○持続可能な営農への取り組み

8月23日には、農業団体と意見交換会を行い、農産情勢、野菜・果樹関係の課題、資材高騰などの経済関係などについて説明を受けました。

意見・要望として、「国・県などの補助・助成制度におけるメニューは多用途意されているが制約が多く非常に取り組みにくい。特に中山間地の多い多久市の樹園地などは採択要件の受益面積が確保できないなどの問題点がある」、「助成等の実施に関しては、多久市の実情に沿った制度設計となるよう、柔軟性を

もって実施してもらうことが肝要だ」などの意見がありました。

さらに、9月10日に佐賀県農林水産部園芸課より「さが園芸888運動」についての内容や事業のメニューについて説明を受けました。



さが園芸888運動の説明会

この事業については、農家への周知不足はいなめないもので、今後は部会等へも広く周知を徹底していくとのことでした。

また、説明終了後、市の担当課と「農業振興計画2021」や市の農業補助事業等について意見交換を行いました。

○市内事業者の更なる活性化

8月17日に委員3名が多久市商工会を訪問し、事務局から商工会で把握している「コロナ禍における事業者の国、県等への各種給付金・助成金申請についての概要説明を受けました。経済状況を好転させるためには、人口減少への対応をどうするかが根本的な課題ということであり、8月23日の委員会で報告し、各委員の認識を共有しました。

今後も、2項目について、農業団体や事業者、市の担当課との協議を重ね、いただいたご意見や要望等の検討を進めていきます。



農業団体との意見交換会